

日本情報経営学会 学会誌特集号 論文募集  
特集：「**AICB<sup>2</sup>M<sup>2</sup>**の推進力と第4次産業革命時代の諸産業テック」(仮)

第4次産業革命は、**AICB<sup>2</sup>M<sup>2</sup>**を駆動力、推進力として新しい産業を創出してゆく革新的プロセス・活動である。新しい産業を創成する原動力としての**AICB<sup>2</sup>M<sup>2</sup>**は次の式で表すことができる：**AICB<sup>2</sup>M<sup>2</sup>=AI + IoE+ Cloud+ Big Data・Blockchain + Mobile<sup>+</sup>・Metaverse**。

これらの技術の中核として、人、モノ・サービス、空間に幾つかのハイパー現象化を適用し、諸産業テックが創出され、知能情報技術革命が誘発される。本特集号は、“**AICB<sup>2</sup>M<sup>2</sup>**の推進力と第4次産業革命時代の諸産業テック”をタイトルとした広範囲にわたる領域を含む研究論文を網羅したものである。

本特集号では、以下のようなテーマに関する研究論文を募集いたします：

- ① 現在進行中の第4次産業革命の概念と特性、世界各国の取組み、枠組み、進化・発展段階・展望、そして今後のロードマップに関わる研究論文。
- ② 第4次産業革命の推進力となる **AICB<sup>2</sup>M<sup>2</sup>**を始めとした、提唱されている諸技術を体系化した研究・調査論文。
- ③ 教育産業、医療産業、農業、金融業、建設業、不動産業等、諸産業に第4次産業革命の駆動力・推進力になる **AICB<sup>2</sup>M<sup>2</sup>**や諸技術が適用され、これら既存産業に最新のICTや広義のモバイルとしてのモバイル+技術が接木され、英文産業名に技術 Tech を付け、Edu Tech, Bio Tech, Agri Tech, FinTech, Con Tech, Prop Tech と呼ばれることになったが、これら諸テックの一つ又は幾つかについて、その産業 Tech の展開過程、国内の状況・海外の動向、今後の展望について体系的に記述した論文または事例研究。
- ④ **AICB<sup>2</sup>M<sup>2</sup>**が、医療・ヘルスケア、製造業、販売・マーケティング、輸送業、金融業、運輸業、建設業、都市開発・地域創生、不動産業等に適用され、どのような産業を創出し、どのような新たな製品とサービスを産み出し、どのように社会で活用され、企業の情報システム、新たな ERP システムに活かされてゆくかを明らかにする研究論文または事例研究論文。
- ⑤ 人と機械との分業を考察しつつ、企業・組織はAI とどのように向き合うべきかを論じた論文または事例研究。

- ⑥ **AICB<sup>2</sup>M<sup>2</sup>**が都市開発，地域創生に革新的に適用されている実際の事例研究，そのベースとなる理論的論文。
- ⑦ 第4次産業革命における現実のDXと情報化されたBig DataをAI・知能化を通じて，現実に反映されるSmart化・ST (Smart Transformation) のConceptual Schemeに関する研究論文。  
次に，これによってSmart Factory, Smart Finance, Smart Mobility, Smart Healthcare, Smart City, Smart Education, Smart Governance, Smart Environment, Smart Safety等がどのように具現化されるかについての研究論文。
- ⑧ 第4次産業革命の一つの段階, MR (VR+AR) と現実との融合によるDigital Twin, OMO(Online Merge Offline), 実現の構造とプロセスについての研究論文。
- ⑨ 第4次産業革命とデジタル・コンテンツ, 防犯, 防災とサイバーセキュリティに関する研究。
- ⑩ スマホ時代におけるモバイル・コンテンツの発展が, 技術的な情報通信インフラの発展に如何にして支えられてきたかを解明し, 今後, 第4次産業革命時代の新しい創造的なコンテンツを創造するためには, ICT・コミュニケーションと文化, 芸術を融複合した, 文化技術 (Culture Technology) 開発の動向・展望とその方向性を明らかにした論文や事例研究。

上述の記載事項を参考に，本特集号のタイトルに関わる幅広い研究・調査，論文の寄稿を歓迎します。

以上